



# ほこた市

# 議会だより

平成20年5月31日発行

No.11



## 平成20年3月定例会

- 定例会日程／主な質疑／討論…………… P 2 ～ 3
- 審議結果…………… P 4
- **ここが聞きたい！**一般質問…………… P 5 ～ 12
- 常任委員会審査報告概要…………… P 13
- 請願・陳情／同意された人事案件…………… P 14

センサーを通過する「ほこたの美味しいメロン!!」

# 平成20年 第1回定例会

## 日程

3月4日	火	本会議	・ 会議録署名議員の指名 ・ 会期の決定
3月5日	水	休会	・ 市長提出議案第1号～第40号について 提案説明
3月6日	木	本会議	・ 自宅審議
3月7日	金	本会議	・ 一般質問
3月8日	土	休会	・ 自宅審議
3月9日	日	休会	・ 自宅審議
3月10日	月	本会議	・ 議案第11号～第40号 質疑、討論、採決 ・ 茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員 補欠選挙
3月11日	火	休会	・ 自宅審議
3月12日	水	本会議	・ 議案第1号～第10号 質疑、委員会付託
3月13日	木	委員会	・ 総務企画常任委員会（付託事件審査）
3月14日	金	委員会	・ 経済建設常任委員会（付託事件審査） ・ 厚生文教常任委員会（付託事件審査）
3月15日	土	休会	・ 自宅審議
3月16日	日	休会	・ 自宅審議
3月17日	月	委員会	・ 茨城空港利活用に関する調査特別委員会 ・ 議事整理日
3月18日	火	休会	・ 議案第1号～第10号 委員長報告、質疑、 討論、採決
3月19日	水	本会議	・ 請願第19～5号について、委員長報告、 質疑、討論、採決 ・ 閉会中の継続審査

## 主な質疑

### 20年度予算審議

#### 商工業振興事業

3810万円

**問** 商工業振興事業の中で小規模事業者、創業予定者の支援とあるが、この事業の内容は。

**答** 小規模事業者の営業向上発展については、市の制度である自治金融制度を推進しています。創業予定者については、関連制度の紹介、あっせん、相談等の支援をして、商工会や中小企業、農業生産者と協議し、連携が図られるよう検討していきます。

#### 国民健康保険税医療給付費分滞納繰越分 1億1千万円

**問** 医療給付費分滞納繰越分が1億1千万円あるが、滞納している方はどのくらいいて、またどういふ事情があるのか。

**答** 国保の滞納世帯が29000件と見込んでいます。滞納する理由は、収入が不安定、住宅ローン等多重債務、払い忘れなどの理由によるものです。

#### 平成20年度予算の人員費の職員数について

**問** 職員は3月で何人が退職し、4月から何人が新規に採用されて、合計で何人になるのか。

**答** 職員数は、本年度中の退職者は中途退職を含めて21名です。内訳は一般事務17名、幼稚園教諭1名、保育士1名、技能労務職2名です。

20年度の新規採用者数は8名です。内訳は一般事務職6名、保育士2名です。20年4月1日現在の職員数は、前年度比13名減の436名です。

#### 再編交付金

1億2789万円

**問** 再編交付金の使い方について。

**答** 交通安全施設設置事業として19年度に引き続き防犯灯の設置を行い、160カ所を予定しています。消防施設整備事業では、消火栓70基設置します。これらは騒音対策関連地区等からの要望に基づき行うものです。農業や観光などの産業振興関連事業では、地場産品の育成PR、特産品の開発、産業振興にかかわるイベント開催などの諸事業を行います。施設整備では鉾田北中学校プール・柔剣道場への進

入路及び駐車場等の整備をします。まちづくりやスポーツ文化関連のイベント開催の経費に充当するため、まちづくり基金条例に基づき基金を積み立てる予定です。

### 学校給食センター整備事業

1861万円

**問** 学校給食センターの整備事業について、自校方式に対する住民関係者の愛着、食育としての意義は大変大きいと思います。児童生徒、父母、学校関係者への説明、合意は得られているのか。

**答** 学校の教職員、PTA代表で構成する学校給食審議会においても説明を行っていることから、各位の認識は得ているものと判断しています。

### (試行) 乗合自動車運行事業

1211万円

**問** 今年度の運行の内容はどうか。利用対象者の引き下げ、運行範囲拡大も望まれています。どのように考えているのか。

**答** 20年度については運行・利用者区域を一部拡大することにとどめまして、さらに試行運転を予定しています。利用対象年齢の引き下げ等については、現

行の65歳以上の方を利用対象としています。

### 小中学校施設整備事業の耐震診断委託料

1272万円

**問** 耐震診断の経費を計上しているが、どのような内容なのか。

**答** 小中学校施設整備事業としての耐震診断は、昭和55年度から昭和57年度にかけて建設された旭中学校校舎と昭和53年度に建設された上島東小学校体育館です。

### (仮称) 学校教育施設検討事業

95万円

**問** 学校教育のあり方や問題の解決に向けた施策について、検討委員会の設置とあるが、住民の合意のない小学校の統廃合を行うべきではないと考えますが、どのような認識を持っているのか。

**答** 学校問題検討委員会については、住民合意の必要性についても、住民と関係各位の理解を得る必要があると思います。この検討委員会は、初めから統廃合を前提とするものではないので、統廃合という観点も含めて総合的に学校問題を検討していきます。その基本としては、子供たちの「学舎」としての望ま

しい教育環境の創出であり、多くの関係者の声を聞くことが重要ですので、必要に応じて対応を図っていきます。

### 難病患者福祉手当事業

432万円

**問** 難病患者福祉手当事業が新規事業となっているが、その内容は。

**答** 対象者1人に年2万円、215名を予定しています。受給資格は、茨城県的一般特定疾患治療研究事業実施要綱に掲げる45の対象疾患です。現に治療を受けている市民であること等を措置要件としています。支給については、福祉手当の支給要綱等を整備して、その中で支給を考えられています。

### 養護老人ホーム保護事業

3099万円

**問** 養護老人ホーム保護事業で入所されている人数並びに待機をされている方々の人数等は。

**答** 20年2月末現在の入所者が鹿行潮来荘に11名、那珂湊の養護老人ホーム1名の12名です。また、待機者については現在いません。

## 反対

後期高齢者医療制度は、75歳以上のお年寄りだけを現在の医療制度から切り離す仕組みであり、子供の扶養家族として健康保険に加入していたお年寄りは、保険料を支払う仕組みとなり、年金から保険料が天引きされるか、窓口で保険料を納付することが義務づけられることとなります。また、診療報酬も別立てにして、医療に格差を持ち込もうとしています。この制度の内容には重大な問題があることは明瞭であります。このような重大な内容を持つ後期高齢者医療制度に関する条例に対して反対します。

## 討論

後期高齢者医療制度は、医療保険制度の将来にわたる持続かつ安定的な運営を確保するため、健康保険等の一部を改正する法律が平成18年6月に公布されたことに伴い、新たに創設された制度であります。本市においても高齢者医療について、広域連合の条例で定める基準に従い、鉾田市後期高齢者医療に関する条例を制定することは、後期高齢者医療制度事務を進めていく上で必要であることから、条例の制定について、原案に賛成します。

## 賛成

## 平成20年 第1回 定例会審議結果 (平成20年3月4日～3月19日)

議案番号	議 案 名	審議結果
議案第1号	平成20年度 鉾田市一般会計予算	賛成多数可決
議案第2号	平成20年度 鉾田市国民健康保険特別会計予算	賛成多数可決
議案第3号	平成20年度 鉾田市老人保健特別会計予算	全会一致可決
議案第4号	平成20年度 鉾田市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数可決
議案第5号	平成20年度 鉾田市介護保険特別会計予算	全会一致可決
議案第6号	平成20年度 鉾田市農業集落排水事業特別会計予算	全会一致可決
議案第7号	平成20年度 鉾田市公共下水道事業特別会計予算	全会一致可決
議案第8号	平成20年度 鉾田市旭区域水道事業会計予算	全会一致可決
議案第9号	平成20年度 鉾田市鉾田区域水道事業会計予算	全会一致可決
議案第10号	平成20年度 鉾田市大洋区域水道事業会計予算	全会一致可決
議案第11号	専決処分の承認について 平成19年度鉾田市一般会計補正予算(第7号)	全会一致承認
議案第12号	平成19年度 鉾田市一般会計補正予算(第8号)	全会一致可決
議案第13号	平成19年度 鉾田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第14号	平成19年度 鉾田市老人保健特別会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第15号	平成19年度 鉾田市介護保険特別会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第16号	平成19年度 鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第17号	平成19年度 鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	全会一致可決
議案第18号	平成19年度 鉾田市旭区域水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第19号	平成19年度 鉾田市鉾田区域水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第20号	平成19年度 鉾田市大洋区域水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致可決
議案第21号	鉾田市職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案第22号	鉾田市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案第23号	鉾田市立旭視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	全会一致可決
議案第24号	鉾田市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案第25号	鉾田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案第26号	鉾田市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案第27号	鉾田市まちづくり基金条例の制定について	全会一致可決
議案第28号	鉾田市地域防災基金条例の制定について	全会一致可決
議案第29号	鉾田市後期高齢者医療に関する条例の制定について	賛成多数可決
議案第30号	鹿島地方公平委員会共同設置規約の変更について	全会一致可決
議案第31号	市道路線の廃止について	全会一致可決
議案第32号	市道路線の変更について	全会一致可決
議案第33号	市道路線の変更について	全会一致可決
議案第34号	市道路線の認定について	全会一致可決
議案第35号	市道路線の認定について	全会一致可決
議案第36号	人権擁護委員の推薦について	全会一致適任
議案第37号	人権擁護委員の推薦について	全会一致適任
議案第38号	人権擁護委員の推薦について	全会一致適任
議案第39号	鉾田市国土利用計画について	全会一致可決
議案第40号	鉾田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致可決
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙	投 票
請願第19-5号	鹿島鉄道(旧鉾田駅)跡地購入に関する請願書	不 採 択

## 平成20年 第1回 臨時会審議結果 (平成20年2月13日)

議案番号	議 案 名	審議結果
議案第1号	工事請負契約の締結について	全会一致可決
議案第2号	専決処分の承認について 平成19年度 鉾田市一般会計補正予算(第6号)	全会一致承認

# ここが聞きたい! 一般質問

## 15議員が一般質問

**答**

【総務部長】 文化複合施設を初めとした、箱物建

設を初めとした、箱物建

設を初めとした、箱物建

伺います。

伺います。

伺います。

**問**

財政状況や今後の鉾田市の状況から見て、文化複合施設のような箱物施設をつくるのを見直す考えはあるのか

財政状況や今後の鉾田市の状況から見て、文化複合施設のような箱物施設をつくるのを見直す考えはあるのか

財政状況や今後の鉾田市の状況から見て、文化複合施設のような箱物施設をつくるのを見直す考えはあるのか



小沼 洋一 議員

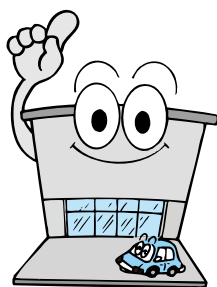
### 特例債事業の見直しについて

設については、財政的に大変厳しい状況にあるので、市民の意見を聞くなど、より慎重に行っています。また、事業計画の見直しについては、建設計画の策定時点からみると財政状況など大変変化しているため、毎年度実施計画の編成をして、見直しを逐次行っていく必要があると

設については、財政的に大変厳しい状況にあるので、市民の意見を聞くなど、より慎重に行っています。また、事業計画の見直しについては、建設計画の策定時点からみると財政状況など大変変化しているため、毎年度実施計画の編成をして、見直しを逐次行っていく必要があると

考えています。

【市長】 特例債事業は、まちづくり計画の中で住民の皆さんからアンケートをとり、計画を立てています。文化複合施設に関しては、中央公民館の建てかえも踏まえながら協議していくべきだろうと思っています。合併して10年が過ぎると交付税が減額されるので、そこまで見据えて財政計画を立てながら進めていきたいと思います。



議員名	質問事項
小沼 洋一	(1) 特例債事業の見直しについて (2) 農業対策について
倉川 陽好	(1) 年金加入状況と対応について (2) 家庭ごみ収集の推移について (3) ハローワーク跡地の利用について
飯塚 幸右衛門	(1) 低気圧通過による堤防破損について (2) 幼稚園について (3) 経常収支について
方波見 和彦	(1) 農業施策について (2) アスベストについて (3) 通学路の整備について (4) 福祉関係補助金の検索システムについて
水上 美智子	(1) 窓口の対応について (2) ごみ有料化について (3) 道路について (4) 市広報紙について (5) ボランティア保険の加入について (6) 妊婦無料健診について
井川 茂樹	(1) 百里基地飛行訓練の騒音・安全対策について (2) 予算編成について
小川 一彦	(1) 下水道について (2) 小学校統廃合について (3) 消防団の統廃合について
畠 長弘	(1) 基幹産業農業の振興について
入江 晃	(1) 難病対策について (2) AEDについて (3) デマンドカーについて
岩間 勝栄	(1) 新市建設計画について (2) 「いのち」と「くらし」の先進都市鉾田の将来について
小沼 幸義	(1) 自然災害の対策について (2) 信号機設置について (県道242号線 飯島・上幡木間の六差路)
勢司 正躬	(1) 新鉾田駅について (2) 広域連携について (3) 文教地区における整備について
菅谷 達男	(1) 環境基本条例の制定について
高野 衛	(1) 小中学校マイクロバス送迎契約について (2) 市道問題について (3) 食糧自給率引き上げと耕作放棄地や減反水田での飼料・小麦・大豆増産について (4) 原油価格の高騰対策 (5) 後期高齢者医療制度の問題について (6) 鹿島鉄道線路敷地を利用したバス運行について (7) 交差点のセンターラインの設置について
江沼 久男	(1) 効率・効果的な行財政の運営について (2) 教育環境の向上について

家庭ごみ収集の推移について



倉川 陽好 議員

**問** 家庭ごみの推移、資源ごみの回収状況と売り払い手数料について、またごみの有料化と今後の家庭ごみの取り組みについて伺います。

**答** 【市民部長】家庭ごみの排出量は、旧3町村合計の月平均は、17年度が1045

t、18年度863t、19年度888tです。資源ごみの売り払い収入額は、18年度2141万9千円、19年度1月末現在で2566万7千円です。また、家庭系ごみの有料化問題について19年度は、「家庭ごみの有料化の実施について」市長の諮問を受け銚田市廃棄物減量等推進審議会で審議を重ね、「年々増え続けるごみ処理経費に対して市民の皆様から応分の負担をいただくことも

必要な時期ではないか。行政側でもごみの減量化に真剣に取り組み必要があるのではないかと」という答申を得ました。今後は、減量化のための分別収集体制の拡充と有料化を合わせた施策を十分検討した後に、実施時期について、市民の理解を得ながら慎重に進めていきたいと考えています。

に取り組むまでにはいかなないと判断もできると思うがいかがですか。

**答** 【市民部長】ごみ処理経費が増えているのは、施設関係で定期的に部品を交換しないと環境影響が出るということとで、施設を維持していくためには増えていくのではないかと考えます。やはりごみの量を減らしていくのがとても大事なことです。今後とも協力をいただきながらごみ排出量を少なくする方向で施策を進めていきたいと考えています。

低気圧通過による堤防破壊について



飯塚 幸右衛門 議員

**問** 平成18年10月に、寒冷前線が関東地方を通過し、上幡木地区や汲上地区の海岸で被害があったが、県にどのような対策を要望してるか、また市として壊れた堤防をどのように対処していくのか伺います。

平成18年10月に、寒冷前線が関東地方を通過し、上幡木地区や汲上地区の海岸で被害があったが、県にどのような対策を要望してるか、また市として壊れた堤防をどのように対処していくのか伺います。

**答**

【建設部長】この被害に対しては、県の管轄ですが、平成18年11月に県知事及び県土木部長ほか関係者に対して早急な対策を講じるよう要望書を提出しました。整備については、汲上地区は、110mが完了しており、引き続き150mの整備について検討中とのことです。今後の対策として、地元要望を踏ま

えながら、引き続き要望していきたいと考えています。

**問** 県の部長や市長は、現場を巡回しているのか。けが人や死者が出たら大変だと思うが、そのような観点からどう考えているのか。

**答** 【建設部長】人命にかかわる部分については、安全確保というのは重要なことなので、早期に検討、現場確認をしながら対応したいと考えています。

**答**

【建設部長】ごみの問題については、環境問題とか河川の管理上の問題とか、いろいろ法的に分かれている部分があり複雑な部分がありますが、十分関係課や県と協議する必要があります。

**問**

ごみが山のようになっているが、ごみの撤去についてはどうのように考えているのか伺います。



方波見 和彦 議員

## 農業施策について

**問**

銚田市をアピールしていただくために、銚田市で使っている農産物の写真の入った名刺の台紙を販売したり、パソコンからダウンロードできるようにできないか伺います。

生産者と行政が一体となって農産物をPRしていくことがより効果的と考えますが、取り扱いについて、悪用やいたずらなどが懸念されるので、今回は貴重な提言として承りたいと思います。

**問**

著作権等の問題もあると思うが、ロコミはともも有効な手段だと思おうので、公募してはどうか。また、銚田市

**答**

【産業経済部長】関係課とも協議し連携を図り、できるところから実施していきたいと考えています。

には若手の映画監督として有望な門井監督もいらっしゃるので、銚田市の農業のプロモーションビデオをつくるなどとして、アピールしていくこともできると思うかがですか。



水上 美智子 議員

## ごみの有料化について

**問**

ごみ有料化について、銚田市は審議会で検討し1年が過ぎました。その結果について伺います。

**答**

【市民部長】銚田市廃棄物減量等推進審議会の答申概要は、(1)家庭ごみの有料化

については、①有料対象ごみ及び排出方法 ②指定袋の価格及び負担方法 ③指定袋の流通方法及び販売方法 ④市民への啓発及び実施時期 (2)有料化導入にあわせ取り組むべき施策等については、①ごみ減量化及び再資源化の推進 ②ごみ減量化の取り組みに対する支援策 ③不法投棄及び不適切排出対策です。

**問**

**答**

【市民部長】1日当たりのごみ回収量を種類別に伺います。【市民部長】12月から今年2月までの3カ月の平均は、可燃ごみ26.5t、不燃ごみ3.5t、粗大ごみ962kg、古紙1.87t、ペットボトル206kg、資源瓶652kgです。

**問**

家庭ごみを有料化していくことについて市民に十分な説明をし、理解していただくことが大切ではないかと思えます。住民に具体的にどのようなお知らせしていくのか伺います。

**答**

【市民部長】住民懇談会のような形で、地元に向いて意見を聞きながら進めていきたいと考えています。





井川 茂樹 議員

百里基地飛行訓練の騒音・安全対策について

対策等はどう考えるのか伺いたい。

問

騒音測定器の設置状況と騒音測定はどのぐらいの頻度で調査されるのか伺います。今後新たな軍備、訓練の移転等も考えられるが、市としての対応や市民への騒音及び安全

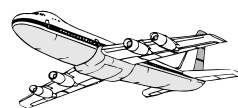
答

【総務部長】 騒音測定器の設置は、18年度に大和田小学校、菅野谷地区学習等供用施設に設置しました。さらに年度内に2基を旭公民館と旭南小学校に設置する予定です。測定する期間と頻度は、旧鏝

田町時代に設置されている基数を含め5基について、北関東防衛局が常時、24時間測定することとなっています。

日米再編に伴うF15戦闘機以外の軍備の配備については、ないと確認を得ています。

共同訓練が行われ、市においてはその都度、協定書に基づき、騒音、安全対策について万全を期すよう強く申し入れを行っております。さらに、訓練期間中は基地に職員を派遣し、監視を行っているところですが、



消防団の統廃合について



小川 一彦 議員

問

昨年4月鏝田市消防団各地区で消防団の統廃合について説明会が行われ、地域及び消防団から多くの意見があったことと思われ、今後の意見を精査した上で、今後どのような形で進めていくのか伺います。

答

【総務部長】 平成18年に消防団再編に係る意見交換会を、全市の消防団、区の役員を対象に8回ほど実施しました。その時、出された意見・要望、アンケート結果などを集約したにとどまっています。進捗には至っていません。

今後については、昨年鏝田市消防団として消防団組織も統合されていますので、改めて全市

区域を対象に地域防災、そのほかの観点から、減少傾向にある消防団員確保の問題や、それに伴う分団組織のあり方等について、消防関係者による検討の機会を設けて、意見交換を進めていきたいと思えます。その中で、一定の組織の統合等に向けた方向性を見出したいと考えています。また、地域の各分団においては、非常に地域に密着している性格上、地域住民を交えた形での懇談も積極的に行う必要があると考えています。





基幹産業農業の振興について



島 長弘 議員

**問**

農業生産活動をエコ農業として推進し、農業、農産物のイメージアップを図っていくための本市の取り組みについて伺います。

**答**

【産業経済部長】化学肥料、農薬の削減に努めた土づくりを通して、環境負荷の

**問**

軽減に配慮した環境保全型農業を推進するために、銚田市土づくり推進協議会を設立したところ。今後推進協議会の中で、耕畜連携の取り組みとあわせ、環境負荷の少ない環境型農業を推進し、本市農業や農産物のイメージアップを図りたいと考えています。

銚田市エコ農業を進めていくために、銚田市独

**問**

自の認証基準をつくってはどうか。  
【産業経済部長】県の制度で20年度から化学肥料、農薬も含めた使用基準が5割削減を条件に交付金制度の適用ができません。対象の基準は集落単位となつています。市の農業施策もそれに準拠していくので、県のほうと十分連携を図り、農業振興を推進していきたいと考えています。

市内の学校給食に中国の冷凍食品の食材が使わ

**答**

食については、中国産品、問題となった食品については使用していません。また、地産地消については、銚田市の食材を17%使用しています。今後とも地産地消に努めていきたいと考えています。

難病対策について



入江 晃 議員

**問**

20年度予算に難病患者福祉手当事業を新規事業として取り入れてあるが、手当の支給方法と1人当たりの支給額について伺います。

**答**

【健康福祉部長】厳しい財政の中ではありますが、

難病で苦しんでいる患者ご本人やご家族のご苦労を見舞うとともに、福祉の増進を図る観点から措置をしたところです。支給額は、患者1人に対し年2万円を予定しています。支給方法は、予算の承認後、ある程度の周知の期間を設け、また要綱等の整備を図り、年1回で支給をしていきたいと考えています。

**問**

支給については、大体何月頃になるか伺います。

**答**

【健康福祉部長】周知しても見落としてしまうようなこともあると思いますので、3回くらい示しまして、支給していきたいと考えています。支給までには少々時間がかかると思いますが、10月ごろまでできればと考えています。





岩間 勝栄 議員

## 新市建設計画について

**問**

合併特例債事業など合併支援事業の進捗状況について伺います。

**答**

【総務部長】合併特例債事業の保健、医療、福祉等の整備については、旭保健センター整備事業など2つ事業計

画があり、事業費ベースで25.8%の進捗状況です。産業振興、居住環境、都市基盤、道路等では、ごみ処理場の施設整備など16の事業計画の中で、現在7事業を着工しています。また、教育、文化等の整備、義務教育施設の整備、社会教育施設の整備については、大洋中学校体育館の建設事業など11項目のうち5事業が着工しています。

**問**

新市連絡道路整備事業の吾妻原から青山地内、県道子生茨城線、県道下太田鉾田線接続道路整備事業造谷地内、造谷から田崎地内の整備とこの間を通る鉾田市街地連絡道路整備事業鉾田土木事務所から青山地内の67号線の整備の進捗状況を伺います。

**答**

【建設部長】新市連絡道路は（仮称）市道鉾田大洋線、県道鉾田大洋線に延伸するものですが、19年度に着手し、20年度はルート設計に伴う概略

設計をもとに地区説明会を開催します。この路線は27年度完成を目指しています。造谷地内の幹線道路の整備は、下太田鉾田線のバイパスですが、20年度は軟弱地盤の解析や用地測量を予定、24年度完成を目指しています。市道鉾田大洋線から県道下太田鉾田線に通じる市街地連絡道路は、周辺道路と一体的な整備をすることが大変有効であり、20年度は概略設計、26年度完成を目指しています。



小沼 幸義 議員

## 自然災害対策について

**問**

地球温暖化に伴い各地で大災害が発生しています。大災害に備えて、市の避難場所は地区ごとに何カ所設けているのか。各避難場所は市民に明確になっているのか。また、市の公共施設や病院、介護施設

**答**

の避難誘導対策はできているのか伺います。

【総務部長】市が指定している避難場所は旭地区

13、鉾田地区22、大洋地区10の合計45カ所ですが、現在策定の地域防災計画において、一部見直しを行っています。避難場所の周知については、現地に避難場所を示す看板を設置してい

ます。また、広報紙やホームページでも公表しています。地域防災計画が作成された時点で、改めて市民に周知していきたいと考えています。各施設の避難誘導対策については、地域防災計画における避難計画に基づくものになります。具体的な誘導方法としては、施設管理者、民生委員、消防団、民間ボランティア等の方々に協力をいただいて誘導体制を整えたいと考えています。



勢司 正躬 議員

鹿島臨海鉄道新銚田駅について

田駅にエスカレーター設置は考えられないか伺います。

**答**

【総務部長】 事業主である鹿島臨海鉄道株式会社に見解を尋ねたところ、現在の経営状況から会社単独での設置は難しいとのことでした。仮に設置する場合は市に応分の負担を求めざるを得ないとの見解でした。本市としても、財政負担が大きく現段階ではエスカレーター設置は非常に困難であると判断しています。

**問**

鹿島臨海鉄道株式会社は大変厳しいとのことですが、あくまで公的な機関、利用施設です。合併特例債の見直しをするなどして検討することはできないか伺います。

**答**

【総務部長】 合併特例債事業については一定の制約があります。あくまで合併時に関連するものになるので事業に入れられるかは十分な検討が必要だと考えます。



**問**

新銚田駅について、高齢者・障害者の方から、プラットホームまでの上り下りがかなりきついと言う声があります。水戸駅には約1mの幅ですがエスカレーターがありとても便利な環境です。銚田市としても関係機関と折衝して、新銚

環境基本条例の制定について



菅谷 達男 議員

**問**

銚田市民憲章の最初の章に「水と緑ゆたかな自然を誇り、美しい環境をつくります」とあるように、私たちは現在、資源やエネルギーの大量消費、ゴミ問題など環境問題に直面しています。この問題を解

**答**

決していくには、一人一人の意識改革と、美しい環境の保全と創造を進める仕組みづくりが求められます。その実現のために、総合計画の事業として取り組むことになっていく環境基本条例の制定について、どのような手順で進める予定なのか。関連して環境基本計画の策定を検討してみたらどうか伺います。

【市民部長】 環境基本条例の制定については、調査研究を行っており現在準備中です。進め方は関係各課と協議により素案を作成して、市民・事業者等で検討委員会等を設置する予定です。市民の意見をいただきながら原案を作成し、議会の承認を得て制定する流れです。環境基本計画については、環境基本条例制定後に事例調査研究をして、長期的・総合的に推し進めていきたいと考えています。

**問**

検討委員会の設置について、委員の選任方法は、公募枠の採用を考えてみたらどうか伺います。

**答**

【市民部長】 委員会についてはこれから検討していく段階でありますが、行政だけでなく、市民や事業者の方々に参加いただける方法で選考したいと思います。また、自治体によっては公募採用も増えているようなので合わせて検討していきたいと思えます。



高野 衛 議員

後期高齢者医療制度について

保険料滞納を理由とした資格証明書発行は行うべきではないと考えますが、いかがですか。

また生活保護基準以下の所得の人に保険料を無料とする減免制度を作るべきではないかと考えますが、どのように考えているか伺います。

答

【市民部長】後期高齢者医療制度については、広報紙と文書にて周知をしてきま

**問** 後期高齢者医療制度は大変大きな問題であるのに、市のチラシ等では内容がよく分からないのが実態だと思います。高齢者・関係者の方々に説明会等を行うべきではないのか。

高齢者の医療確保の立場から、

教育環境の向上について



江沼 久男 議員

問

ゆとりの教育が実施され、6年が経過しましたが、基礎的な学力の低下が懸念される声がありました。社会変化が進行している中、効率よく働くためには、学校で習得した知識・技能を生かすとともに、自ら学び、自ら考える力が必要であると考えます。基礎的な学

答

力は生きる力の原点であり、今後どのように指導体制の充実を図っていくのか伺います。

【教育長】学校が週5日制になつて6年たった今、外国と比べて学力が低下した等の調査結果が出てきていますが、学力そのものが低下したとは思っていません。しかし、日本の現状を見ますと思考力・判断力・あるいは家庭での学習時間ほかの国と比べて極めて少ないのが現状です。

した。紙媒体などをもちまして再度周知させていただきたいと思えます。

資格証明書の発行については、1年間継続して保険料が未納になった場合には、資格証明書を発行して対応していくよう法律で定まっています。広域連合では基本的にこの制度に基づく対応をし、特別な事情がある場合は個々のケースによって慎重に対応するとしています。また後期高齢者医療被保険者滞納対策については今後十分に検討してい

きたいと思えます。

減免制度の制定については条例の規定で、特別な事情がある場合は減免ができるので、具体的な取り扱いについては、今後広域連合で協議・検討を行っていくとのことでした。



休みを利用した補習などの考えはあるのか伺います。

答

【教育長】専門的な教科の免許を持ち授業ができるということですが、小学校においても中学校と同様に教科の専門性を介した授業ができるよう方策も考えたいと思えます。また夏休みについては教育委員会が規定した授業があるので、それ以外の方法を学校で工夫して改善するところがあれば実施してもらいたいと思えます。

問

週5日制となつているなかで夏

専門的な授業とは教科担任制度のことか、また

# 常任委員会審査報告概要

## 総務企画常任委員会

議案第1号の歳入では、原子力地域振興事業費補助金、原子力発電施設等広報安全対策交付金並びに電源立地地域対策補助金の活用について、20年度計画として排水路整備事業、市道改良工事、児童に対する啓蒙活動、市道整備工事を予定しているとのことでした。

歳出では、茨城空港利用促進等協議会負担金について事業内容の質疑に対し、国内線の就航促進、国際線の就航促進、セールスを目的としたエアポートセールズ事業、エアポートセールズ支援事業、空港貨物調査検討事業及び旅行商品造成事業ということでした。

乗合自動車運行事業については、今年度、大竹地区、白塚地区の一部について運行範囲が拡大されることでした。議案第1号の本委員会所管事項について、採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決しました。

請願第19-5号 鹿島鉄道（旧銚田駅）跡地購入に関する請願書については、平成19年第4回定例会において付託され、継続審査としてきました。審査の結果、本市において旧銚田駅跡地の土地利用計画がなく、さらにその敷地内には、国有地等が含まれており一体的な土地利用を図る際には制限があるとの理由で、採決の結果、賛成少数により不採択としました。

## 経済建設常任委員会

議案第1号の歳入では、市営住宅使用料の滞納者が増加傾向にあり徴収率も悪い状況にあります。また連帯保証人の保証能力のない人が保証人に登録されている現状もあり、今後の改革が必要であると考えます。また道路特定財源について、本市においてどのような影響があるのか質疑があり、5億4千万円程度の影響があるとのことでした。歳出の農業振興では、産地ブランドアップ振興協議会事業が新規事業で計画されており協議会が設立されることでした。中小企業に協力してもらい、農産物の加工に取り組んでいくこととしました。農業・商工・水産・園芸関係すべてを含めた事業として実施する計画にあり、観光PRキャラクターも6月頃を目安に募集をかけて認証し、イベントや加工品の表示等に活用していくこととしました。

議案第6号では、舟木地区の農業集落排水事業について今年度から実施されており、総事業費27億6千万円が予定されていることとしました。対象世帯は400戸で1750人ほどが見込まれるとのことでした。

議案第7号では、公共下水道事業について、全体として平成46年度までを見込んでいますが、全体30haのうち、99haについて23年度を見込んであることとしました。議案第1号から議案第7号までの本委員会所管事項について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 厚生文教常任委員会

議案第1号の歳入では、保育所運営費負担金における個人滞納分の質疑があり、19年度から保育所に収納事務の委託をして保育所と協力しながら滞納整理事務に取り組んでいるとのことでした。軽自動車税は、ガソリンの高騰により軽自動車の需要増が予想されるため444万円増を見込んでいるとのことでした。

歳出の民生費では、敬老長寿褒状事業の食糧費の増についての質疑があり、昨年度はお茶のみの配付でしたが、20年度はあめ等を配付することとしました。教育費では、大洋中学校体育館整備事業について大洋中学校の体育館は耐力度調査の結果、老朽化が進んでいて全部取り壊し新築する予定で20年度に設計し21年度に工事着工することとしました。

採決の結果、議案第1号から5号の本委員会所管事項については、全会一致で原案のとおり可決しました。

各水道事業会計については、3地域別々の会計で水道料金も異なっているが統合する予定はないのかという質疑があり、水道事業の統合は、銚田区域の工事が終わる段階で統合し、料金についても段階的に料金改定していくという協定事項となっていることとしました。それぞれの区域の水道会計についての採決の結果は、すべて全会一致で可決しました。

## 請願 陳情

3月定例会に提出された請願・陳情等は、請願1件、陳情2件、要望1件です。

- ◆ **請願第19-5号** 鹿島鉄道  
(旧鉾田駅)跡地購入に関する請願書  
・提出者 ネバーギブアップかしてつ 代表 吉田亜里子  
・審議結果 不採択
- ◆ **陳情第19-8号** 安全な医療と看護・介護の実現、地域医療拡充をはかるため、医師・看護師等の大幅な増員を求める陳情書  
・提出者 茨城県医療労働組合連合会 執行委員長 小室 和久  
・写しを全議員に配付
- ◆ **陳情第20-1号** 「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然復元と被害防除に使うことを求める意見書提出に関する陳情  
・提出者 日本熊森協会 会長 森山まり子  
・写しを全議員に配付
- ◆ **要望**：平成20年度税制改正及び行財政改革に関する要望について  
・提出者 社団法人 鹿行法人会 会長 石津 健光  
・写しを全議員に配布

## 人権擁護委員

3名の方を推薦いたしました。

米 川 守 氏 鉾田市上釜  
富 田 泰 氏 鉾田市常磐  
生井澤 恭子 氏 鉾田市荒地

委員長 小沼 俊秀  
副委員長 方波 見和彦  
委員 小沼 幸義  
委員 水上 美智子  
委員 井川 茂樹  
委員 勢司 正躬

### 編集委員

春の到来を感じさせるツバメが我が家の同じ巣に戻ってきました。もう10年になります。ツバメは、田畑の作物につく虫は食べませんが、作物は食べません。うまく自然と共存し、親しみが湧きます。もし、人間のやるこゝとが無秩序で、自然の営みが壊れたら、結果は必然と起こるでしょう。

一人の女性が道路のゴミを拾っていました。その姿を傍観者として見ているか、否か、私たちの地域を守るため、一人一人ができることから何かをはじめていくことが大事なのではないでしょうか。

これからも、議会だよりは、市民の目線から見、さらに見やすい、読みやすい、わかりやすい紙面づくりを心がけて編集していきたいと思えます。

(水上美智子 記)

## 主な議会の動静

### 3月

- 4日～19日 平成20年第1回定例会
- 13日 総務企画常任委員会
- 14日 経済建設常任委員会
- 14日 厚生文教常任委員会
- 17日 茨城空港利活用に関する調査特別委員会

### 4月

- 11日 県北鹿行市議会議長会定例会(行方市)
- 17日 茨城県市議会議長会定例会(水戸市)
- 18日 議会広報編集委員会
- 22日 厚生文教常任委員会(福祉施設視察)
- 24日～25日 関東市議会議長会定期大会(川崎市)
- 25日 市町村長・市町村議会議長会議(水戸市)

### 5月

- 27日 総務企画常任委員会所管事務調査
- 27日 議会広報編集委員会

## 議会を傍聴しませんか 次期定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会 議 内 容
● 6月10日(火)	本会議(初日)
● 6月11日(水)	休会
● 6月12日(木)	本会議(一般質問)
● 6月13日(金)	本会議(一般質問)
● 6月14日(土)～15日(日)	休会
● 6月16日(月)～18日(水)	委員会
● 6月19日(木)	本会議(最終日)

\*日程は変更になる場合があります。

市役所1階ロビーのテレビでも議会中継をご覧になれます。

### 編集後記